

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終わった人から、元の生活に戻っていけると信じている。3か月あれば効果も見えてくると思っている。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・相談が多い。ほとんどが、病院で「今日が山、今週が山」と言われて、その足で当社に相談に来る客である。
	○	商店街（代表者）	・全国的に新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、効果に期待が高まっている。ゆっくりではあるが、接種回数の増加に伴い、人の動きが始まるのではないかと。
	○	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いたり、東京オリンピックが開催されたりすれば、夏物商材に加え、4Kテレビ等にも期待ができる。
	○	百貨店（店長）	・前年は5月15日まで食品以外は閉めていたため、現在は前年と比べて大きく伸びているものの、16日以降は前年実績より良くない。今月は、前々年の半分以下だが、現在が底ではないかとみている。新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、主要顧客である高齢者が戻れば、今より良くなるのではないかと。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、半導体不足が解消される状況になってくれば、景気は良くなる。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	・さすがに今の状況より良くなっているのではないかと期待している。新型コロナウイルスの感染状況が抑えられていけば、必ず良くなると信じている。
	○	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、外出も高齢者から再開すると思われる。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率次第だが、やや良くなると思いたい。県独自の感染対策認定店になり、割引クーポンの発行権利も取得しているので、今後大いに期待している。
	○	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第4波は、山を越えてきており、来月には緊急事態宣言も解除されるとみている。高齢者のワクチン接種も進み、死者数もかなり減少するのではないかと。県内限定の観光誘客クーポンも発売されており、徐々に需要が回復すると予想している。
	○	旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第なので、先行きの見通しは立たないが、ワクチン接種が順調に進み、感染が抑えられれば、秋以降、段階的に受注が増えて景気も上向きとなる。ITに係る製造業では、今までになく忙しい会社も存在しており、感染状況の先行きを見通すことができれば、景気は回復に向かう。
	○	観光名所（職員）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種効果が出始めるのではないかと。今よりは旅行需要の回復が期待できる。
	○	遊園地（職員）	・新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的に集客施策の実施や情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
	○	ゴルフ場（経営者）	・大きなコンペはないものの、シニア層のワクチン接種の話題が非常に多い。また、当県のワクチン接種率が高くなっていることから、今後期待している。
	□	商店街（代表者）	・現状、新型コロナウイルスの影響で、先行きがどうなるか一つも見当がつかないため、何とも答えようがない。このまま、良くなるか悪くなるか分からない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・高齢者から新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっているが、これで人の動きや商材の動きが出てくることを期待したい。東京オリンピック効果も期待したいところだが、消費意欲がどの程度出てくるのかはみえてこない。まだしばらくは厳しい状況が続くであろう。
	□	百貨店（営業担当）	・変わらないと判断したが、東京オリンピックが開催できるかできないかで状況はまた変わってくる。開催でき、良くなる方向に向かってほしい。
□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進まないことには経済は良くなるらない。50代の私が受けられるのは、10～11月だろう。	

□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数が減らない限り、景気は良くならないのではないかと。ただし、東京オリンピックも開催されるとのことなので、その分、多少プラスはあるかもしれないが、変わらない。
□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、景気は変わらない。
□	コンビニ（経営者）	・イベントなど特別な案件がない。
□	コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言の延長や社会的な動きからみて、変わらない。
□	コンビニ（店長）	・当地では、新型コロナウイルスは特別大きくまん延しているわけではない。今のところワクチン接種も関係なく、余り状況は変わっていないのではないかと。
□	衣料品専門店（経営者）	・良くなる要素が見当たらないので、現状のまま変わらずに悪いだろう。
□	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの終息と景気対策の見通しが立たない。
□	乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の影響は、長引くと予想される。
□	一般レストラン（経営者）	・ワクチンさえ打てばという考えになりつつあるので、新型コロナウイルスの感染拡大には油断がならない。感染者数の動向イコール飲食業の動向になってしまっている。
□	スナック（経営者）	・基本的に、新型コロナウイルスのワクチンを全員が接種しなければ、今の飲食店の厳しい状況は変わらない。この2～3か月ではどうにもならない。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことにしか期待感が持てなくなっている。しかし、2～3か月先に急激に変わることは期待できない。現状からみて、緊急事態宣言の解除若しくは緩和により回復が進むが、また、現在のような感染状況になり、人の動きが減少する。その形を繰り返す予測が一番強いので、変わらない。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・東京及び大都市の緊急事態宣言の延長が大きく響いている。法人宴会の動きが全く出ていない。特に、ゴールデンウィーク後の法人宴会のキャンセルが13件ほどあり、この先9～10月まではキャンセルが続いている。金額にして1000万円を超えるキャンセルの損害が出ている。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況が収まるかどうかによって変化してくる。
□	通信会社（経営者）	・緊急事態宣言解除の行方や東京オリンピックの開催の可否、新型コロナウイルスのワクチン接種等、余りにも不透明な点が多く、先が見通せない。
□	通信会社（社員）	・現時点では特に強調材料はない。半導体需要の増加で、端末機器の生産が遅れているため、工事のペースに遅れが出る懸念がある。
□	住宅販売会社（経営者）	・別荘は高額なため、急激に販売が伸びる可能性は低いものの、移住や2拠点居住等で、需要は底堅い。
▲	商店街（代表者）	・もう大丈夫という動きがないと、自粛ムードは解消されない。
▲	スーパー（経営者）	・従業員の募集に対する応募が多くなってきている。かなり失業者が増えてきているのではないかと。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がこんなに長引くとは思わなかったもので、小売業としても非常に厳しい状態が続いている。しかも、今月は天候が比較的不安定で降雨が多かったため、売上はやや伸び悩んでいる。
▲	その他サービス [クリーニング]（経営者）	・当地では新型コロナウイルスのワクチン接種が全く進んでおらず、見通しは暗い。
▲	設計事務所（経営者）	・新規依頼物件数が減ってきている。
×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、ますます悪くなる。
×	スナック（経営者）	・誰のせいにもできないが、この新型コロナウイルスには本当に参っている。良くなる要素がなく、悪くなるばかりではないかと。
×	都市型ホテル（支配人）	・緊急事態宣言が1か月程度延長される見込みとなったため、県独自の景気回復対策である県民向け前売制の宿泊割引の予約受付開始日と利用開始日がそれぞれ延期され、現状では日程未定のため、期待が外れてしまっている。

	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んで感染状況が改善され、緊急事態宣言の解除等がされていない限り、現状が改善されることは難しい。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	食料品製造業（総務担当）	・新素材の感触がやや良く、それなりの数字は期待できそうである。また、中元時期を迎えるため、多少でも販売は上向くとみている。
	○	金属製品製造業（総務担当）	・半導体業界は好調で、やや良くなる。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・予想は立たないが、Web上での販売やPR展開を毎日積極的に進めている。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・半導体不足により、顧客生産が落ち込んでおり、今後の受注動向も不透明である。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響下であり、先行きがみえない状況が続いている。
	□	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・宝飾品を身につける機会としての会食や旅行が、全て制限されている。希望者全員への新型コロナウイルスのワクチン接種のめどが立たない限り、宝飾品市場の回復は考えられない。
	□	金融業（調査担当）	・製造業は需要が底堅く推移する見通しだが、自動車関連等では半導体不足の影響も懸念される。新型コロナウイルスのワクチン接種が進む可能性はあるが、非製造業の需要増加にはまだ時間が掛かるとみられる。
	□	金融業（経営企画担当）	・緊急事態宣言が発出中だが、新型コロナウイルス疲れにより、客足は3月前とさほど変わらない。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっているが、全国民に行き渡るのにはまだ時間が掛かる。それまでは現状が続くことが予想される。
	▲	食料品製造業（営業統括）	・宿泊施設や飲料業界に及ぼす影響は、今年いっぱいはずっと続き、大変厳しい状況は変わらない。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品の入荷が遅れているため、生産を止めざるを得ない状況になる。入荷した途端に早急な対応を求められ、人員の過不足が懸念される。
	▲	建設業（経営者）	・ここに来て、資材不足や値上がり著しく、将来の景気に不安が出ている。
	×	食料品製造業（製造担当）	・今のままの新型コロナウイルス対策で、感染を抑えきれないとは思わない。感染状況の悪化から、ますます悪くなる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も増えてきたので、現状維持か、やや良くなるのではないかと。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・高齢者のワクチン接種が5月中旬から始まったが、それに伴って新型コロナウイルスの感染者数が落ち着いてこない限り、先行きは見通せない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・求人を含め引する製造業の一部企業に、業績回復が見られるものの、将来不安から慎重な姿勢が堅持され、高齢社員への静かなリストラが見え始めている。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むものの、変異株の出現等、感染拡大になかなか歯止めがかからない。このまま新型コロナウイルス禍が長期化すれば、宿泊、飲食、卸、小売等の業種が更に厳しい状況になる。
×	人材派遣会社（営業担当）	・求人や求職状況も変わらず、双方で今まで以上に条件が高くなっている。再三の就職活動や求人活動は厳しくなることが予想されているためではないかと。	